

ともに支え合う安心・健やかで幸せなあいち ～「あいち^{けんこう}健幸社会」の実現

社会状況が大きく変化する中で、**県民一人一人が希望をかなえ、生涯を通じて自分らしく、地域で安心して暮らせる社会**が求められています。

人と人とのつながり・支え合いにより、地域のすみずみまで保健・医療・福祉が行き届き、誰もが健やかで幸せに暮らせる社会を「**健幸社会**」と名付け、その実現をめざしていきます。

めざすべき健康福祉社会

5年後、10年後の愛知のめざすべき健康福祉社会の姿は次のとおりです。

子ども、若者、女性、高齢者、障害のある人など、 全ての人が活躍する「人が輝くあいち」

〈具体的な状況〉

子ども

貧困が世代を超えて連鎖せず、夢と希望を持って健やかに成長できる



若者

経済的に自立した生活ができ、希望する人が結婚や子どもを持てる



女性

仕事と生活の調和がとれ、男性の家事・育児参加が増えるなど女性が社会で活躍できる環境が整っている



高齢者

退職後も社会の支え手として活動でき、医療や介護が必要になっても、必要なサービスを受けて地域で安心して暮らせる



障害のある人

障害の有無にかかわらず、等しく個人として尊重され、生涯を通じて地域で安心して暮らし、あらゆる分野の活動に参加できる



支援や配慮が必要な人など

状況に応じた支援が受けられ、社会の一員として助け合って生活できる

働く世代

安心して子育てや家族の介護、病気治療をしながら仕事や社会生活を継続できる

